

きもべっCS通信

発行者 喜茂別町学校運営協議会

コミュニティ・スクール(学校運営協議会)がはじまりました

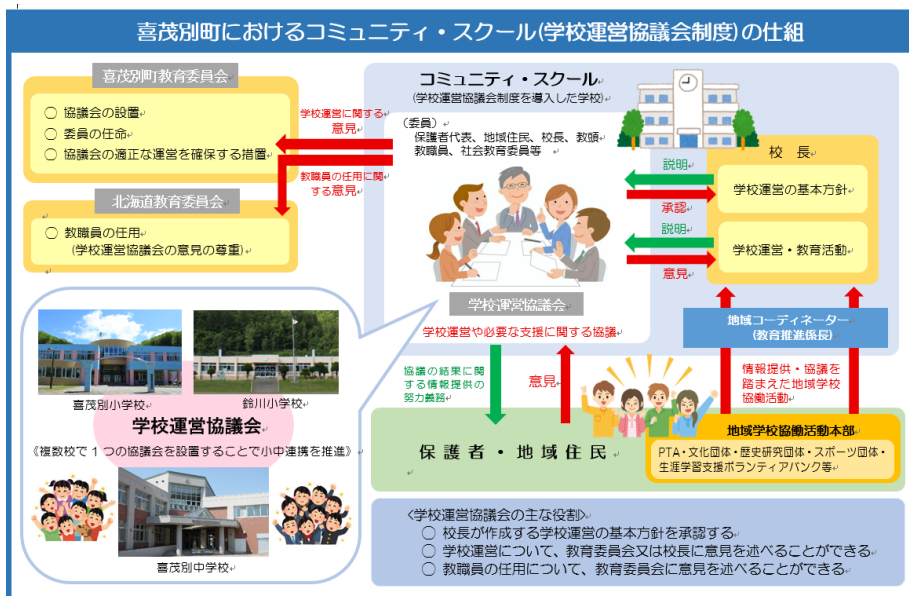
1 学校と家庭、地域を取り巻く現状とコミュニティ・スクールの設置

この制度は、学校と保護者や地域の皆さんが共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、学校・家庭・地域が協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を目指す仕組みです。

学校は、これまで地域における「学び」の中核を担っており、学校行事などを通じ地域コミュニティの維持、発展においても重要な役割を果たしてきました。

しかし、近年は少子高齢化・核家族化や人口減少、高度情報社会や多様化する生活様式などにより、家庭、地域も大きく変容しており、大きく移り変わる社会に対応するために学校の役割はさらに大きくなってきています。

これまでの学校においても、地域の方々の協力を得ながら時代に即した学習環境を構築してきましたが、学校と家庭、地域のさらなる連携・協働を目的としてコミュニティ・スクール(学校運営協議会)が設置されました。



※コミュニティ・スクール
(学校運営協議会)とは
学校運営協議会とは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第47条の5第1項の規定により、教育委員会、学校の運営に関して協議するためにおかれる機関のことであり、平成29年4月1日より施行されました。

2 コミュニティ・スクールの役割について

学校運営協議会の役割とその意義は大きく次の3つになります。

①校長の作成する学校運営の基本方針を承認する

学校と家庭・地域で育てたい子ども像や目指す学校像を共有し、計画の段階から保護者や地域住民等の参画を得た学校運営が期待されます。

学校運営の基本方針とは次のようなもので、1年間の学校の進め方について校長が作成します。

- (1) 教育課程の編成に関すること
- (2) 学校経営計画に関すること
- (3) 組織編成に関すること
- (4) その他校長が必要と認めるもの

②学校運営について教育委員会または校長に意見を述べる事ができる

学校の教育活動に対し、様々な角度や多様な見方からの意見をもらうことで、教育活動や地域連携に関する点検や支援する取り組みにつながります。

③教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べる事ができる

実現しようとする教育目標・内容等になかった教職員の配置・任用について、保護者や地域住民等の意向が任命権者(道教育委員会)に直接的に反映されることで、各学校の特色ある教育に熱意・適性のある教職員が集まり、

教育活動の推進力が増加することが期待されます。

3 委員の構成及び身分について

喜茂別町学校運営協議会設置規則に基づき、次の方々が教育委員会より任命されています。今年度は、学校、PTA、地域住民、学識経験者からなる16名の委員が任命されました。学校運営協議会の委員は、「非常勤特別職の地方公務員」の身分を有することになります。また、「喜茂別町学校運営協議会設置規則」第9条の規定により、守秘義務が課せられます。

4 活動内容について

学校運営協議会の主な活動内容は、「2」で記載したものの以外に、年3回以上の運営協議会の開催、年1回以上の研修会及び、必要に応じた学校地域協働活動があります。

運営協議会では、学校運営基本方針の承認、年間計画の確認のほか、学校運営の評価や学校地域協働活動の進捗確認、そのほか必要に応じた話し合いを行い、研修会では、現在の学校を取り巻く状況や学校と地域が協働するために必要な知識などを学ぶ機会となっています。

学校地域協働活動は、学校運営協議会内に設置される部会で、これまで喜茂別町で取り組まれてきた「子どもの安全を守る会」などのPTAや地域が参画する取り組みについて話し合い実施する組織となっています。

5 これからの学校運営協議会について

喜茂別町では学校運営協議会設立以前より、学校と地域の連携・協働として地域の方々が学校の授業（総合的学習の時間等）において、講師として参画しており、特に喜茂別小学校では町文化団体の「きもべつ歴史プロジェクトの会（KHP）」による「喜茂別の歴史」に関わる授業（小学4年生）や、JA ようてい職員・町内の農家の方々の協力による「喜茂別の農業」に関わる授業（小学5年生）、きもべつ青年交流セミナー会員による「まちおこし」の授業（小学6年生）を行っており、今年度は小学3年生を対象とした「喜茂別の自然・生物」について、オビラメの会（事務局はニセコ町）の協力のなか授業を行う予定となっているほか、喜茂別中学校ではゲストティーチャーとして、様々な職業の方々からのお話を聞く機会を設けております。

今後につきましても、家庭・地域、そして関係団体の方々と協働して、子どもたちの学びの機会の充実を図ってまいります。



地域の方々が講師となって小中学生の「学び」の機会をつくりあげています

児童・生徒が地域の方々と深く関わり、喜茂別町の自然や歴史、産業、まちづくりなどについて学ぶ機会が増えることで、学校と地域の距離はもっと近くなります。そして、地域の方々の持つ知識や経験を子どもたちに伝えていくことは、喜茂別の未来を担っていく「人づくり」となっていきます。

この、コミュニティ・スクールが継続・発展していくためには、学校と地域との連携・協働が不可欠ですので、地域の皆様におかれましては、未来の喜茂別を担う人づくりを推進していくため、コミュニティ・スクールの活動に、ご理解、お力添えをいただきますようお願いいたします。

喜茂別町学校運営協議会 会長 藤沢 尚樹